

## 別添2

### 参 考(平成18年～22年の生産量等)

1 乾しいたけ 単位:トン

区 分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	3,861	3,566	3,867	3,597	3,459
前年比	94%	92%	108%	93%	96%
輸入量	7,949	7,700	6,759	6,086	6,127
輸出量	76	69	60	53	40
消費量	11,734	11,197	10,566	9,630	9,546
輸入割合	68%	69%	64%	63%	64%

2 生しいたけ 単位:トン

区 分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	66,349	67,155	70,342	75,016	74,488
前年比	102%	101%	105%	107%	99%
輸入量	16,394	9,972	4,689	4,722	5,616
消費量	82,743	77,127	75,031	79,738	80,104
輸入割合	20%	13%	6%	6%	7%

3 なめこ 単位:トン

区 分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	25,615	25,818	25,945	26,138	26,421
前年比	103%	101%	100%	101%	101%

4 えのきたけ 単位:トン

区 分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	114,630	129,770	131,107	138,501	139,193
前年比	100%	113%	101%	106%	100%

5 ひらたけ 単位:トン

区 分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	3,384	3,024	2,578	2,424	1,892
前年比	83%	89%	85%	94%	78%

6 ふなしめじ 単位:トン

区 分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	103,249	108,996	108,104	110,741	104,359
前年比	103%	106%	99%	102%	94%

7 まいたけ 単位:トン

区 分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	45,985	43,607	43,398	40,998	43,035
前年比	102%	95%	100%	94%	105%

8 エリンギ 単位:トン

区 分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	36,435	38,265	38,214	37,223	36,885
前年比	106%	105%	100%	97%	99%

## 9 まつたけ

単位:トン

区分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	65	51	71	24	140
前年比	167%	78%	139%	34%	583%
輸入量	1,720	1,554	1,329	1,597	2,044
消費量	1,785	1,605	1,400	1,621	2,184
輸入割合	96%	97%	95%	99%	94%

## 10 たけのこ

単位:トン

区分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	26,900	22,339	29,926	30,812	39,531
前年比	116%	83%	134%	103%	128%
輸入量	272,891	257,224	224,686	179,458	197,982
消費量	299,791	279,563	254,612	210,270	237,513
輸入割合	91%	92%	88%	85%	83%

## 11 白炭

単位:トン

区分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	3,558	3,542	3,516	3,541	3,399
前年比	94%	100%	99%	101%	96%

## 12 黒炭

単位:トン

区分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	13,611	13,036	12,324	11,703	10,077
前年比	94%	96%	95%	95%	86%

## 13 竹炭

単位:トン

区分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	1,350	1,268	1,150	897	812
前年比	91%	94%	91%	78%	91%

## 14 木酢液

単位:キロリットル

区分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	3,378	3,027	2,727	2,323	2,250
前年比	109%	90%	90%	85%	97%

## 15 竹酢液

単位:キロリットル

区分	18年	19年	20年	21年	22年
生産量	521	424	407	357	278
前年比	90%	81%	96%	88%	78%

注1:消費量は生産量 + 輸入量 - 輸出量

注2:22年の生産量については、東日本大震災の影響により取りまとめが行えない宮城県、茨城県を含まない量であるが、21年の生産量は、これら2県を含む量であるため、前年比は、別添1「平成22年特用林産物の生産量(速報・主要品目)」とは一致しない。